



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



Vol.13

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



副病院長 林 美加子

平成29年度も後半を迎えました。

歯学部附属病院では、10月から立体駐車場の建設工事が始まっています。これまで、混雑のため駐車に時間を要してご不便をおかけする局面がありましたが、建設予定の平面2層3段の立体駐車場にて駐車スペースが現在の40%増となることより、効果的な混雑解消を狙っています。来年4月末までの建設中は何かとご不便をおかけしますが、安全第一に進めて参る所存ですので、ご協力をお願い申し上げます。

また、本年末には、3階で進めていました医員技工室の改修が完了いたします。この技工室は病院設立時より使用してきたため、特に老朽化が目立っていましたが、この度、主な器材が一新されることにより、気持ち新たに患者の皆様にご提供する技工物を作製してまいります。

現在、本院には30カ国からの患者さんが受診されています。国際歯科医療センターでは、このようなグローバル化に対応するために英語をはじめとした外国語に対応できるスタッフが分かるように、国旗をモチーフにしたシールをスタッフの名札に貼って明示することといたしました。また、各診療科にて主な病気の症状や治療法について、イラストを交えて日本語の他にも英語、中国語、韓国語で説明するタブレット端末を準備しています。その内容も毎年更新しながら充実を図っており、急速に進む国際化への対応に努めています。

これからも、患者の皆様にご安心、ご安全な診療を受診していただけるよう、様々な側面から病院の整備を図って参りますので、ご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

内面

● 特集1.

立体駐車場建設工事にともなう
駐車場・駐輪場移設のご案内

● 特集2.

「第15回市民フォーラム」開催について

● 特集3.

咬み合わせが気になっているお子さん
おられますか？

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

● 2017年7~9月の統計情報

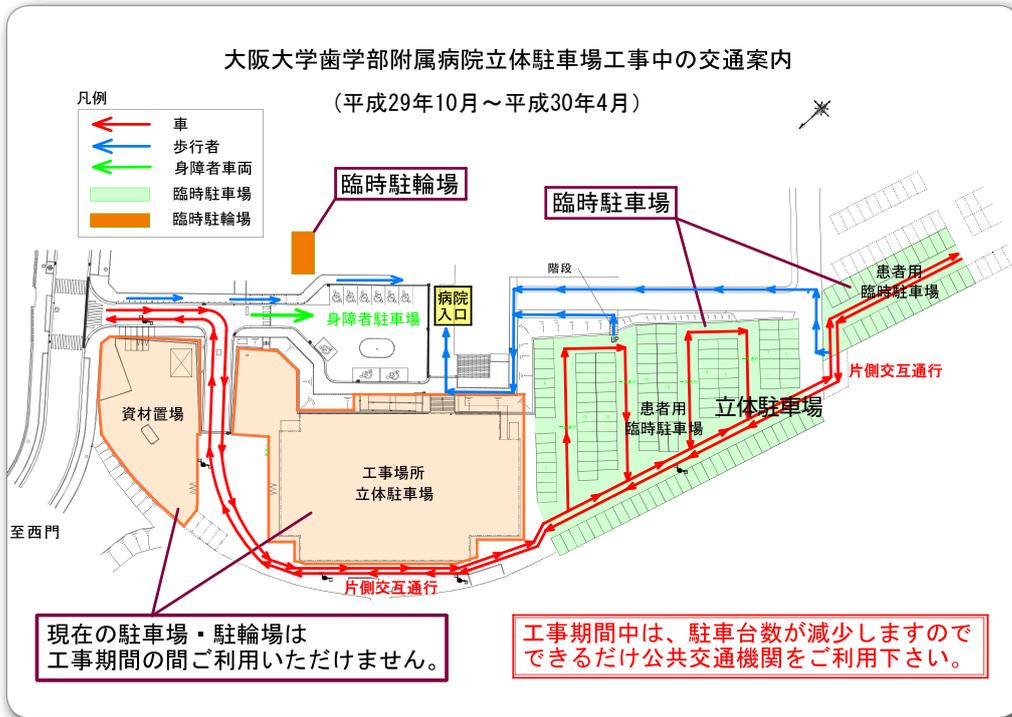
● 病院概要



「立体駐車場建設工事にともなう 駐車場・駐輪場移設のご案内」

平成29年10月2日から立体駐車場の建設工事を開始しております。工事期間中の患者用駐車場・駐輪場は下記のとおりです。また、工事期間中は駐車台数が減少しておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。建設工事は、平成30年4月までを予定しております。患者様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、

何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。



第15回 「市民フォーラム」

「治せなかった病気が治る、
最新歯科治療」
開催について

【講演内容】※一部抜粋

「見える」と変わる、
顕微鏡と最新CTを駆使したむし歯治療



高橋 雄介

大阪大学大学院歯学研究科
歯科保存学教室 講師

最新の器材を駆使したむし歯治療、さらには将来的な治療の展望についてもお話したいと思います。

「インプラント治療最前線
ライフステージに合わせた様々な治療」



和田 誠大

大阪大学大学院歯学研究科
歯科補綴学第二教室 講師

インプラント治療の様々な活用方法と咀嚼や全身の健康への効果についてお話しします。

「幹細胞移植で取り戻す

歯ぐきと骨の健康」



竹立 匡秀

大阪大学大学院歯学研究科
口腔治療学教室 講師

歯周病で失われた歯ぐきや骨を再生させるという近未来の歯科治療についてお話したいと思います。

お口の相談
コーナー



「切らずに治せるがん治療」

口腔外科学第二教室 助教 加藤逸郎

口の中にがんができるの？

口の中にできるがんを口腔がんと呼びます。口腔がんのうちの約9割はいわゆる癌で、できる場所によって舌癌、歯茎にできる歯肉癌、頬にできる頬粘膜癌、口底癌などがあります。これらの癌は、通常は、手術によって治しますが、中には癌が進行して手術できない人や手術しても大きな障害が残る可能性の高い人、手術拒否した人に対して、当科では2006年から選択



手術前



手術後

動注化学(放射線)療法を行っています。

どのような治療法ですか？

がんのできている場所に依じて、がんを栄養している動脈に選択的にカテーテル(細いチューブ)を留置(複数)して、皮下に薬剤注入のための装置を埋め込みます。装置から1週間に1回抗がん剤を投与します。抗がん剤を流している間は、静脈から中和剤を投与して副作用を軽減します。通常は放射線治療も同時に行います。注入装置を皮膚の下に入れているので、外出や洗髪も可能です。

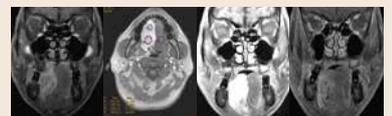
どんな良い点があるの？

切らずに治せるので、食べる、咬む、

飲み込む、しゃべるなどの様々な動きをできるだけ温存することができ、また顔や顎の変形を防ぐことができる非常に優れた治療法です。

副作用は？

治療中と治療後しばらく口内炎がでます。また、貧血などになる場合があります。治療期間が長くなる場合があります。



MR画像：一番左図の舌の白い部分は癌の拡がりを示します。中2つは抗がん剤と同じ速度で造影剤を流しながらMR撮影したもので、抗がん剤の灌流域を示しています。一番右は、治療により白い部分の癌は消失しています。

特集 3

咬み合わせが気になっているお子さんはおられますか？

小児歯科 外来医長 大川玲奈

「意のままに歯を動かせる、
アンカースクリューを用いた矯正治療」



伊藤 慎将
大阪大学大学院歯学研究科
顎顔面口腔矯正学教室 助教
日進月歩の医療界、矯正の
世界も例外ではなく、技術革
新が起きています。矯正治療
の“今”についてお話しいた
します。

「白い歯っていいな
～安心安全 歯のホワイトニング～」



中村 俊雄
大阪大学歯学部同窓会
歯の着色や変色のメカニ
ズムと安心・安全なホワイト
ニングの方法についてお話さ
せていただきます。

日時 ● 2017年12月2日(土)
13:00 ~ 16:00

場所 ● 千里ライフサイエンスセンター5階
サイエンスホール
豊中市新千里東町1-4-2

定員 ● 250名(入場無料)

インターネット・Eメール・はがき・FAXにて受付。

①氏名・②住所・③性別・④年齢・⑤連絡先(電話・
FAX)を明記の上、以下よりお申込みください。

<http://www.dent.osaka-u.ac.jp/forum.html>

Eメール: 15sanka@dent.osaka-u.ac.jp

Tel・Fax: 06-6875-8300

締切: 11月22日(水) 必着

※ 詳細はホームページをご覧ください。

大阪大学 歯学部 市民フォーラム



写真1 治療前

乳歯の時期の歯並びと咬み合わせの異常として、反対咬合(受け口)があります(写真1)。治療に際しては、歯型を取ったりエックス線撮影をしたりして、歯並びと咬み合わせの分析を行います。一般的には、少しずつ歯科治療ができるようになる3歳頃から分析と治療が可能になります。分析の結果、乳歯の時期に治療することによって、正しい永久歯の歯並びや咬み合わせを誘導できる可能性が高い場合は、保護者の方に治療の意義と方法を説明し、ご希望があれば治療を行います(保険適応外です)。



写真2 装置装着

治療に用いる一般的な装置は、写真2のような歯に固定するタイプになることが多いです。装置を入れた後はひと月に1回程度受診していただき、針金を調整することによって歯を移動させます(写真3)。歯には弱い力しかかかりませんので痛みが出ることはまれですが、ガムなどの粘着性の食べ物で装置が壊れてしまうことがありますので注意が必要です。治療期間は概ね半年から1年程度になりますが、永久歯への生え変わりまでの定期的なフォローが必要です。



写真3 治療後

反対咬合をはじめお子さんの歯並びや噛み合わせで気になることがあれば、お気軽に小児歯科担当医までご相談ください。



「むせない場合でも、誤嚥していることがある!？」

顎口腔機能治療部 部長 阪井丘芳

お口の
マメ知識



社会的にも広まって来た『嚥下障害』(飲み込みの障害)と『誤嚥』(気管に唾液や食べ物が入ること)という言葉ですが、誤嚥する際に、**むせ**(食事時の咳)を生じない場合があるのをご存知でしょうか。むせることは、気管に異物が入らないようにするための防御機構のひとつです。しかしながら、ご高齢の方や、パーキンソン病、脳梗塞など一部のご病気の方は、むせる反射機能が弱まっており、**むせなくても誤嚥している**場合があります。むせない誤嚥のことを不顕性誤嚥といいます。そのような状態ですと、ご家族や周囲に嚥下障害があると認識されないまま、突然**肺炎**を起こして

しまうことがあります。最近、痰が多い、食後に声ががらがらしている、原因の分からない発熱がある、などの症状がある場合には、一度検査を受けてみるのも良いかもしれません。

最近、患者様ご自身が来院できないご家族からの相談の連絡が増えてきております。そのため当部では、セカンドオピニオンとしてご家族様からの相談をお受けするようになりました。予約をした上で、しっかりとお時間をとって対応させていただきます(料金がかかります)。本人様の移動が困難、他の病院に入院中などの場合でも、ご家族様から当部にご連絡頂ければと思います。

不顕性誤嚥を疑う症状

- 痰が多い
- 食後しばらくして咳が出る
- 食後、声ががらがらする
- 原因不明の発熱がある

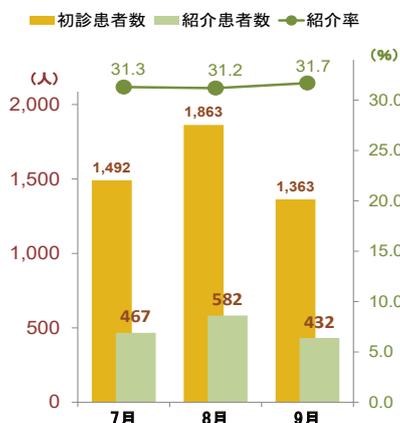


7月～9月患者数等統計

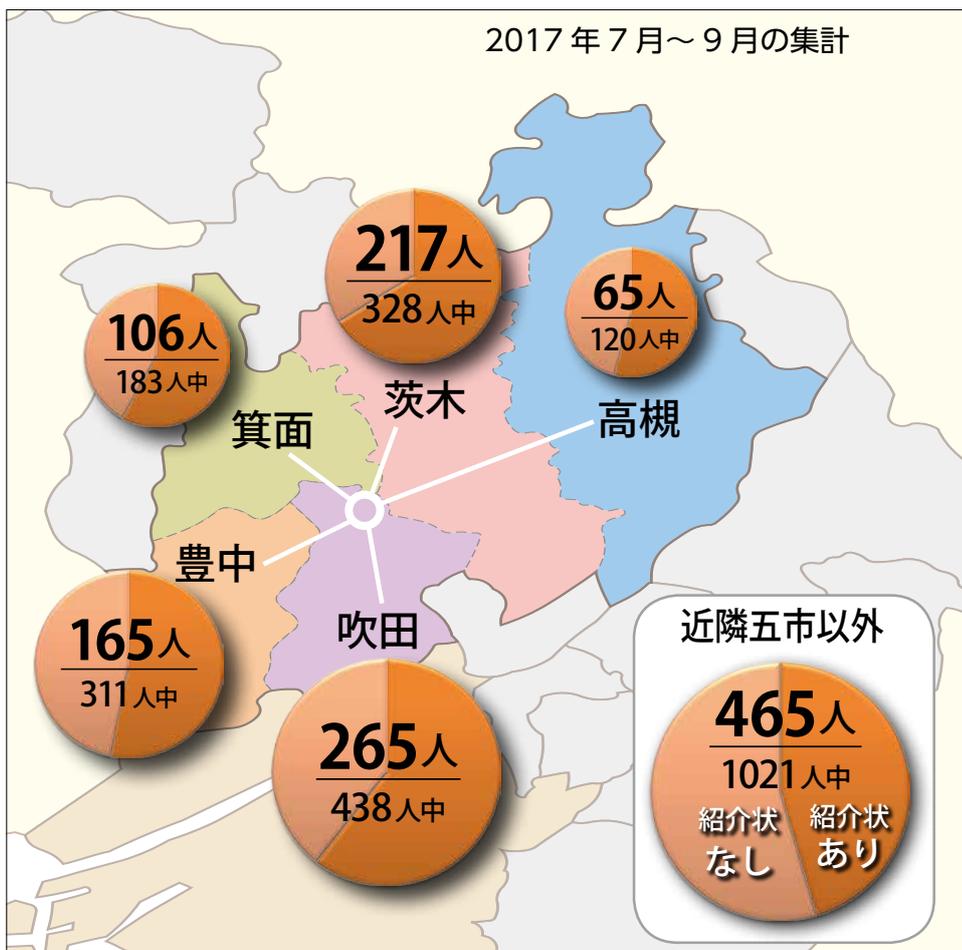
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

**看護師・歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

